

癒やしの森作り  
中学生らが植樹

秩父

秩父札所4番・金昌寺の近くにある秩父市山田の高篠山で8日、「古堂の森づくり」を続ける「水源の里を豊かにする会」(三上一郎(会長)が植樹作業を行った)の写真。秩父市立影森中の3年生80人も卒業記念と森林環境学習の一環として参加。県や市、秩父ロータリークラブなどの協力を得て実施した。

生徒や地元住民たちは、三上会長ら会員の指導を受けながら雑木林(約230㍏)内の南斜面4カ所(計約26㍏)にシャクナゲやロウバイなど4種200本を植えた。4〜5月にかけて一部が花を咲かせるという。

三上会長は「自然を



生かした癒やしの森として整備を続けていく。一般に開放しているので、多くの人に里山での森林浴を楽しんでほしい」と話していた。

【岡崎博】